

水俣病対策 などきさく

新潟市衛生部長、水俣へ



新潟市一で、六十歳の老人と十八歳の少年

衛生部長をのぞけば、すべて壮年ばかり

高橋英雄で、女、子供は一人もない。原

氏一写真 因は新潟大学医学部と県衛生部で

―は、十 調査しているが、農薬か工場廃液

九日午前 かはまたはつきりしていない。現

在新潟大医学部の学術患者とし

て、新薬投与によって水銀の抽出

にあたっているが、一人一日に五

万円の治療費がかかり、この点水

俣市が治療費、生活費、補償費な

どでどう対処しているかを調べる

ためやってきた。リハビリテーシ

ョンセンターの施設も視察し、漁

協やチツソ水俣工場関係者らの話

も聞きたい。

なお同部長は同日夕方栃本市に

向かい、玉井順大教授と話し合っ

た。二十日夕方栃本市で発表東京経

由で帰任の予定。

十一時すぎ水俣市役所を訪れ、水俣病についての対策、治療などについて橋本市長、徳永衛生課長らから説明を聞いた。

新潟市内に発生した有機水銀中毒患者の症状が、同じく有機水銀による水俣病と似ているところから、現地調査にやってきたもので、同部長はこのあつぎのよう

に語った。

中毒患者は九人(うち四人死

亡)で、昨年の秋に一人、あと

は阿賀野川流域の半農半漁の部落